

Windows XP SP2 適用後に必要な作業 - ファイアウォール ON の場合

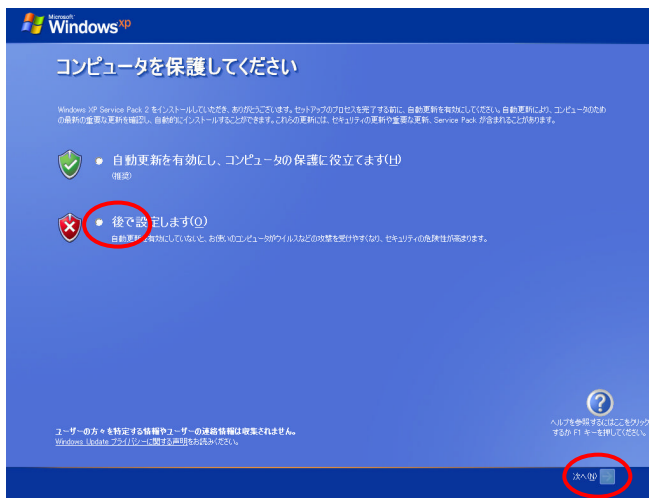
SP2適用後に Windows ファイアウォール をオン (規定値)の状態
で、Recepty・EM-Receptyを正しく動作させるための設定手順です。

*** P-P親機 にて、以下の設定が必要となります。スタンドアロン環境、P-P子機での設定は必要ありません。(クライアントサーバのサーバはWindows2000のため対象外)**

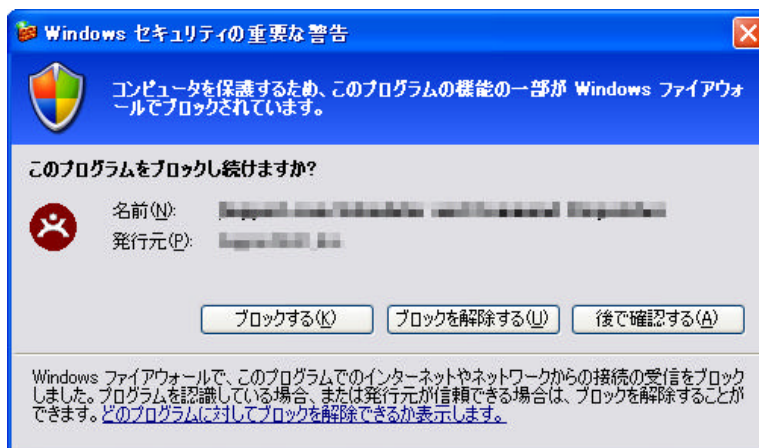
*** Norton Internet Security のファイアウォール機能を有効にしているマシンでは本操作は行わず、Windows ファイアウォール をオフにしてください。**

0.SP2インストール再起動後、最初のログイン時

0-1 SP2インストール後、最初の再起動のログイン直前に次の画面が現れます。後で設定します (O)にチェックを入れ[次へ]ボタンをクリックし、ログイン画面に進みます。



0-2 ログイン直後から、外部との通信を行おうとするプログラムが存在する場合、次のような警告画面が表示される場合があります。必要に応じて、解除 (許可)・ブロックの設定を行ってください。

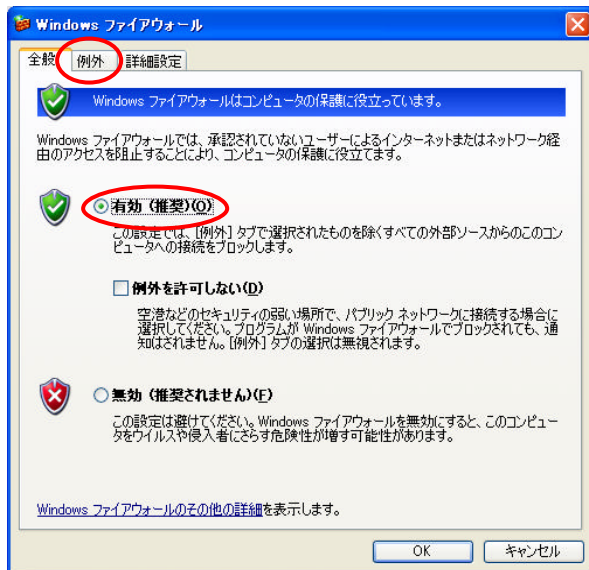


1 .Recepty動作に必要なポートを開く

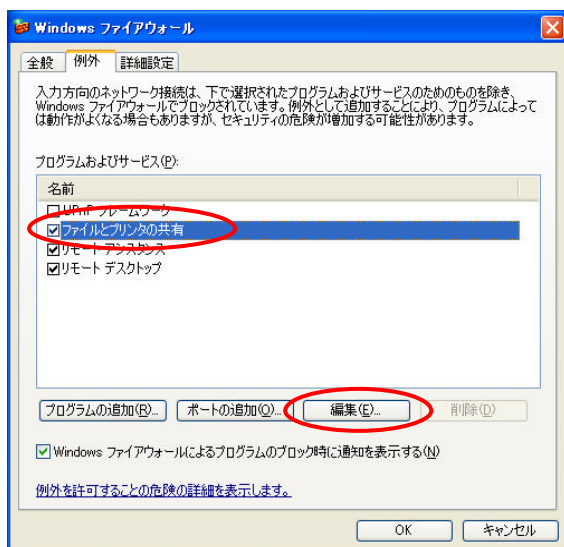
1-1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] をクリックしコントロールパネルを開きます . Windows ファイアウォールアイコンをダブルクリックします .



1-2 Windows ファイアウォール 設定画面が表示されます .有効 (推奨) (O) が選択されていることを確認し [例外]タブをクリックします .

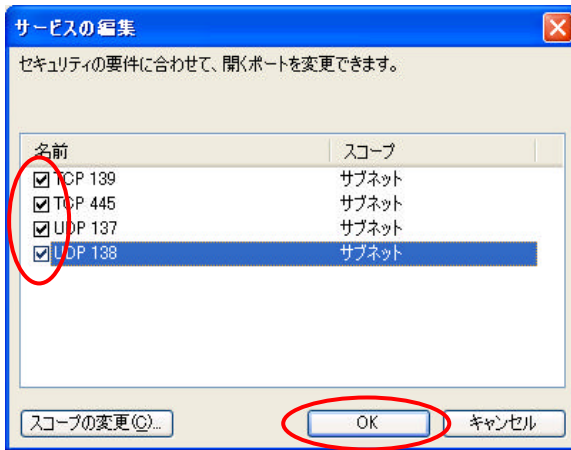


1-3 ファイルとプリンタの共有 にチェックを入れ、[編集(E)] をクリックします .



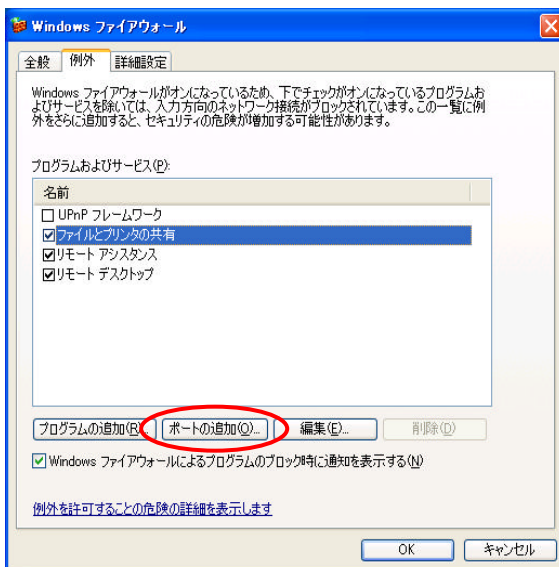
1-4

TCP139、TCP445、UDP137、UDP138 の4つの全てのチェックボックスにチェックが入っていることを確認し [OK] をクリックします。



1-5

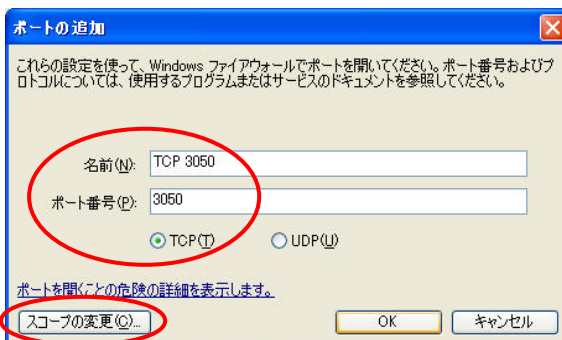
1-3 の画面に戻り [ポートの追加(O)] ボタンをクリックします。



1-6

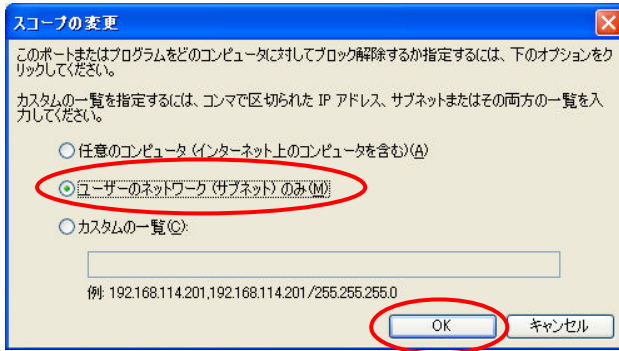
TCPの3050を開くための設定を作成します。

名前(N) : TCP 3050、ポート番号(P) : 3050、TCP(T)を選択 とし [スコープの変更(C)] ボタンをクリックします。



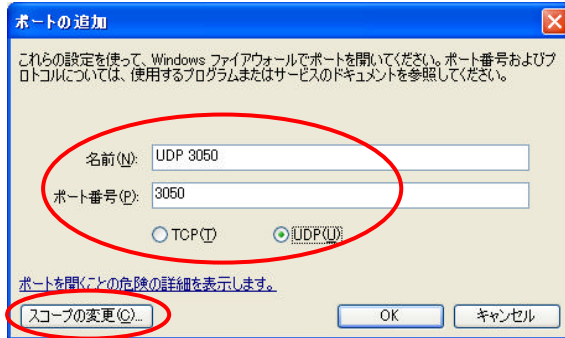
1-7

スコープの変更画面が表示されます。
ユーザのネットワーク(サブネット)のみ(M) を選択し [OK] ボタンをクリックします。



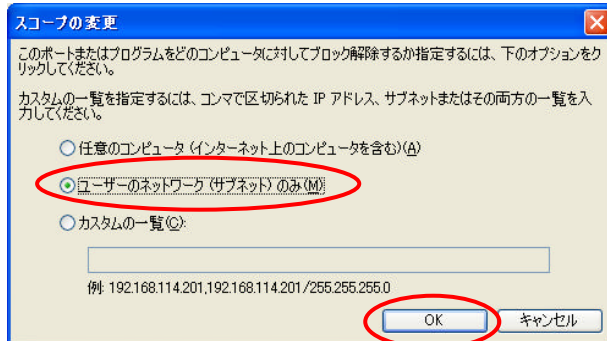
1-8

1-5 の画面に戻ったら[ポートの追加(O)]ボタンを再度クリックし、1-6 と同様の手順で 名前(N) : UDP 3050、ポート番号(P) : 3050、UDP(U)を選択 とし [OK] ボタンをクリックします。



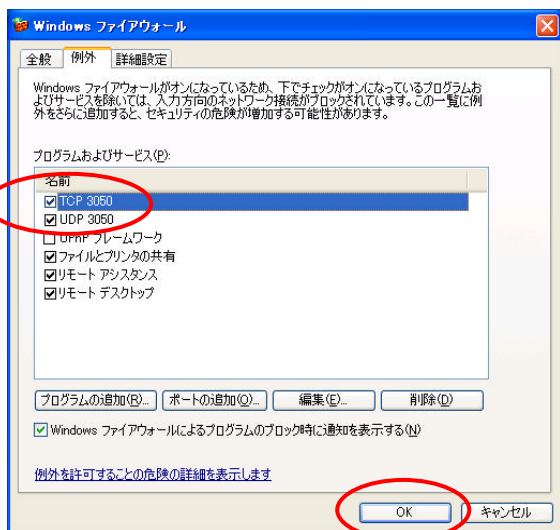
1-9

スコープの変更画面が表示されます。1-7 と同様の手順でユーザのネットワーク(サブネット)のみ(M) を選択し [OK] ボタンをクリックします。1-8 の画面に戻りますので、もう一度[OK] ボタンをクリックします。



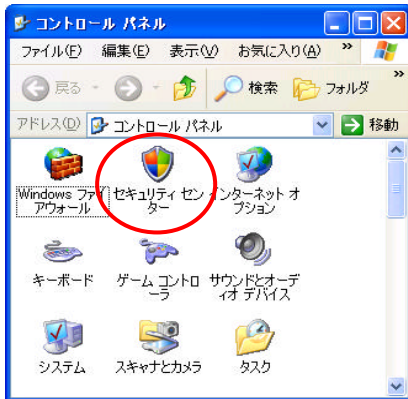
1-10

1-5 の画面に戻りますので、ここまでの手順で作成した TCP 3050、UDP 3050 のチェックボックスにそれぞれチェックが入っていることを確認します。[OK] ボタンをクリックし Windows ファイアウォール 画面を終了します。

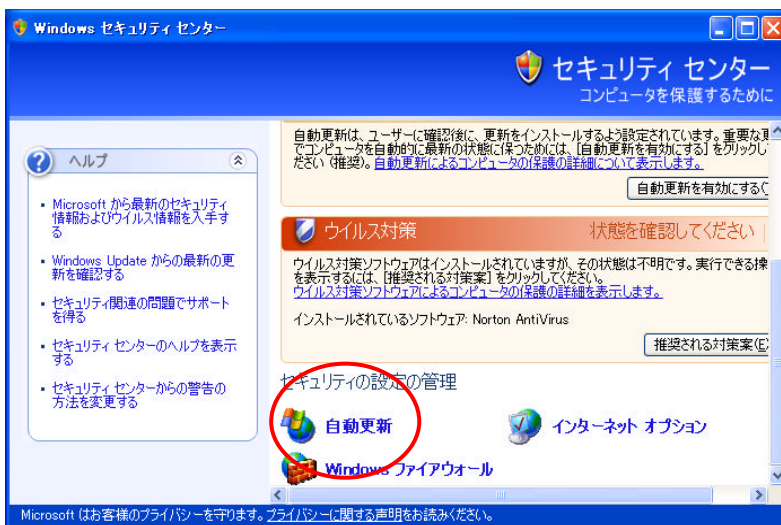


2.自動更新の設定

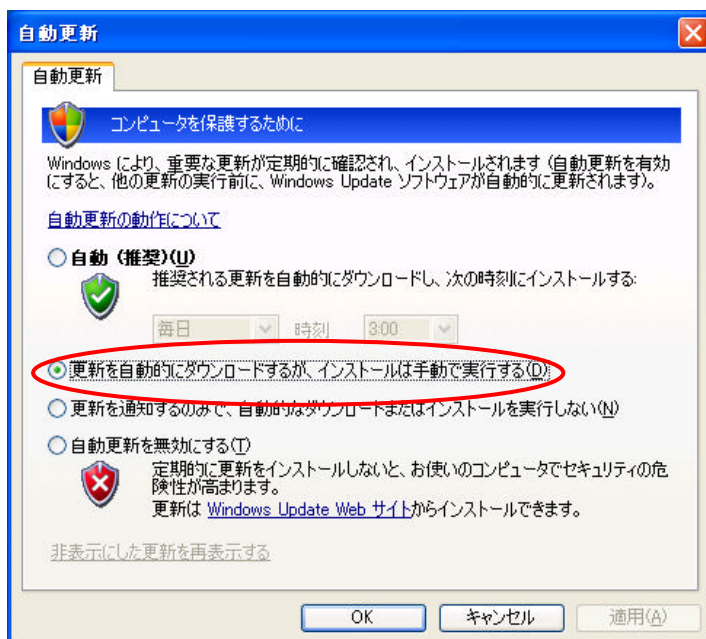
2-1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] をクリックしコントロールパネルを開きます。セキュリティセンター アイコンをダブルクリックします。



2-2 "セキュリティセンター"画面下部の 自動更新 をクリックします。

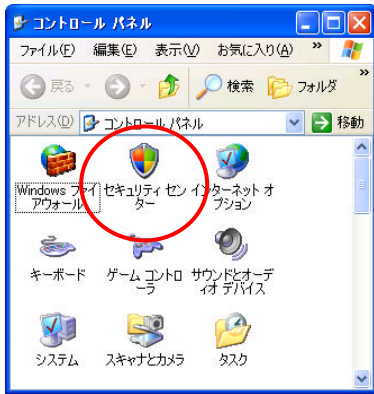


2-3 "自動更新"画面 から "更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する(D)" を選択し、[OK]ボタンをクリックします。"セキュリティセンター"画面を画面右上のXをクリックして終了します。

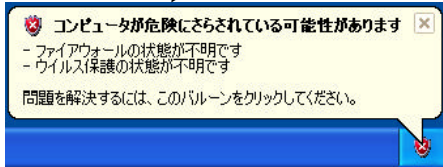


3.Windows セキュリティの警告の設定

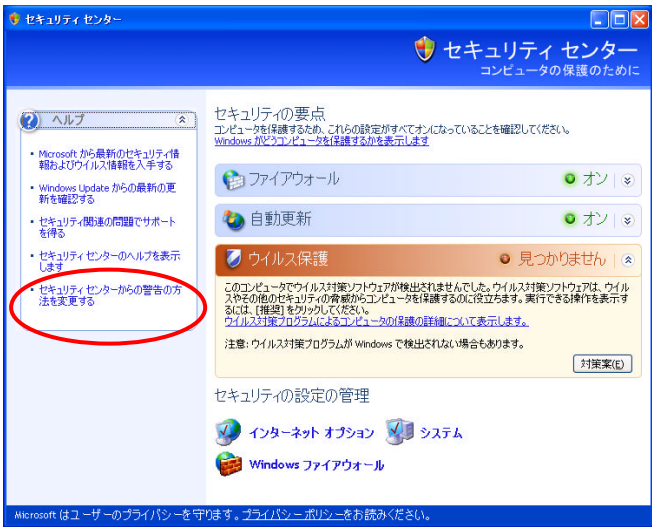
3-1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] をクリックしコントロールパネルを開きます。 "セキュリティセンター" アイコンをダブルクリックします。



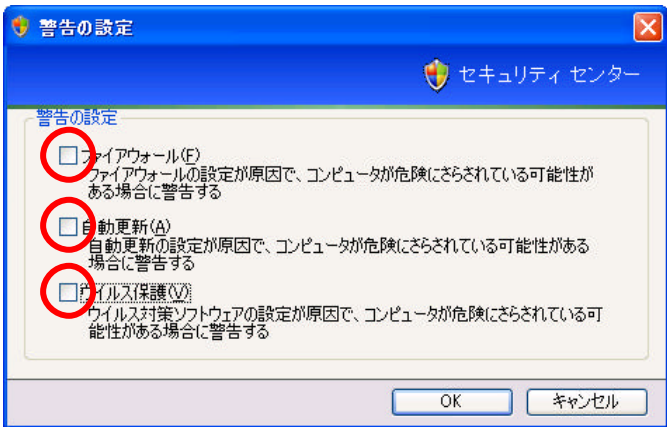
このメッセージと通知領域のアイコンを非表示にします。



3-2 "セキュリティセンター" 画面の "セキュリティセンターからの警告の方法を変更する" をクリックします。



3-3 表示された "警告の設定" 画面で、警告を受けたくない項目のチェックを外し [OK] をクリックします。 一切のメッセージを非表示にするには、全てのチェックを外し [OK] をクリックします。



このWindows セキュリティの警告メッセージは Recepty EM-Recepty の操作画面上の一部のボタンを隠してしまいますので、一切の警告を受けないように設定することを推奨します。